

2013年5月22日(水曜日)

天候 曇り時々晴れ
風 東北東 2～3m
波 1m
目的地 宮之浦港
距離 26.6NM

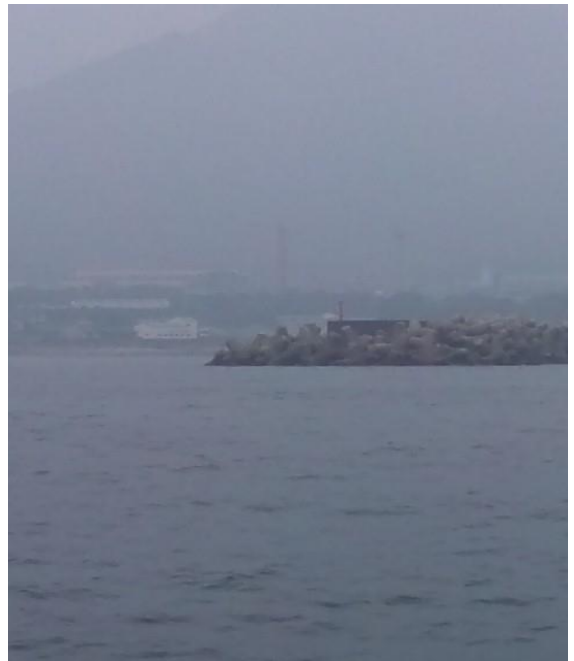


サラバ硫黄島、またいつの日か！！

7:30分 硫黄島を霧に囲まれて出航。

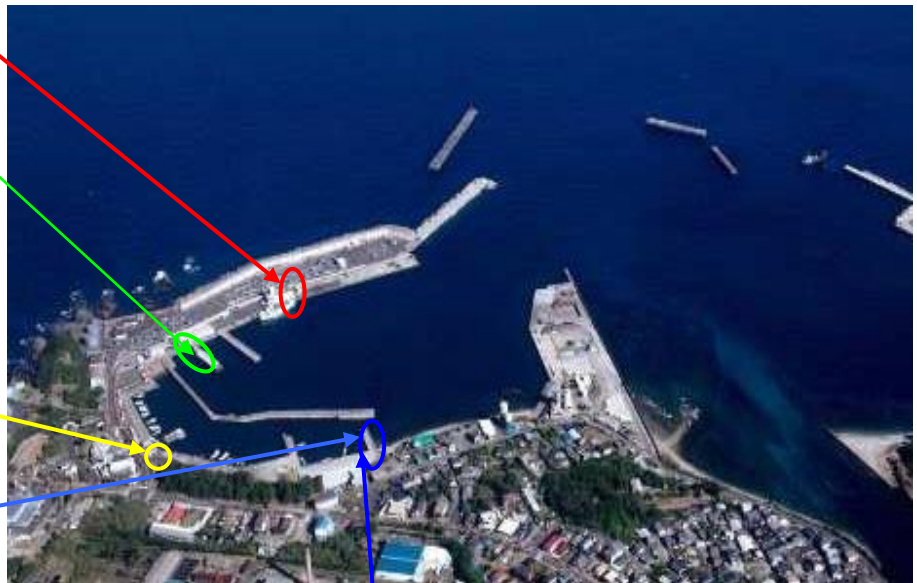
視界2マイル、360° 霧で真っ白です。船や漂流物の見張りに集中。オープンCPN2.5バージョン大活躍です。硫黄島を出航して3マイルにある瀬も正確に表示通り現れました。出航前にopen cpnの精度を長間瀬でチェック、海図との誤差南方向へ0.05から0.1マイル程度であることを確認していましたが、やはり優れものです。

3時間ほどすると屋久島の山影がうっすらと見え始め、11時ごろ、宮之浦港も霞んでいます。



11:30 宮之浦入港、早めの入港なので情報収集のため高速艇浮き桟へ着岸。

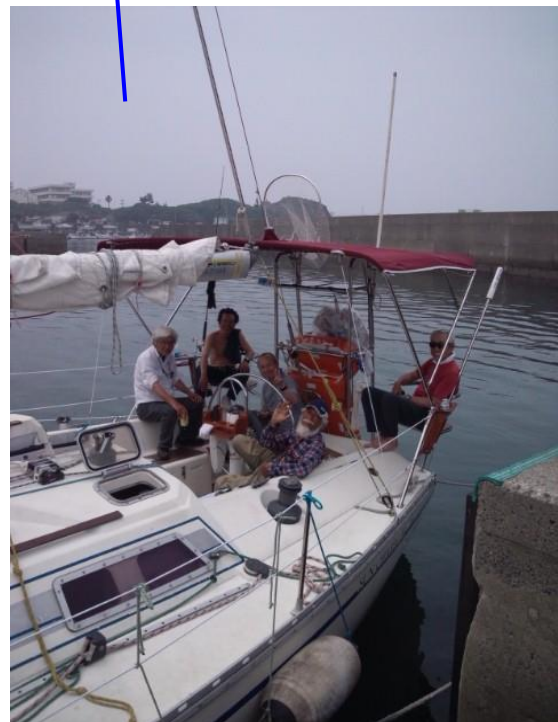
- ・フェリーターミナル
- ・高速艇浮き桟橋
(観光案内所、港湾
管理事務所)
- ・漁協
- ・最終停泊場所
- ・最終停泊場所



フェリーターミナルにある観光案内所では停泊場所が確定できず。隣の港湾管理事務所に行くとおめけの殻、困り果てていると、観光案内所の方が親切にも電話で港湾関係者に連絡、1時間30分ほど待って最終停泊地が上の写真の処に決まりました。この場所は、出航前情報で確認していたところで、素直に直行すれば何の問題も無かったのに反省です。

着岸直後の写真です、広さも十分、外港からの波、漁船の引き波もあまり無く、甕島に比べると快適です。

まずは、泊地情報、次に観光や登山のための情報収集。そしてレンタカーの調達へと。また、明日午後帰福、帰阪のための手続きにと、二手に分かれて行動開始です。



泊地情報

・屋久島環境文化村
センター

・トイレ

・スーパー

・コインランドリー

・土産物屋

・浮き桟橋

・ガソリンスタンド(○
から南へ200m)

・ 停泊場所



- ・ トイレ 洋式はフェリー待合所とスーパー、24時間使用可能は公園。
- ・ お風呂 土産物屋さん(観光センター)前、公園側バス停よりバスで10分田代別館が便利でした。
- ・ ゴミ処理 土産物屋さんに聞くと、親切にも「仕分けして持て来ればここで捨てていい!」と引き受けてくれました。ただ、焼酎御岳はスーパー価格よりすごく高いのでお菓子の土産購入でご勘弁!
- ・ レンタカー 軽では山に登れないとしきりに普通車を進められました。軽に4人乗りで山道もOKでした。岸壁が広くヨットに横付けでき快適です。
- ・ 桟橋は観光船と漁船が占領し使用できませんでした。

さて、23日(木) 午前中レンタカーでの観光地めぐりを終え帰福、帰阪組みの準備のためKANALOAへ。岸壁に着くと留守番組みの二人がボートフックで岸壁を突っついてます。聞けば、岸壁真横では魚探の水深が2mを切り、危ないので岸壁に寄らないようにボートフックで沖に押しているとのことでした。早速ロープを2時方向50メートル先のクリートに張り直し。釣竿に錘を付け水深探查。ポート側中央水深2m30、KANALOAは2m、ぎりぎりです。明日からは大潮、24日未明から宮之浦岳1泊2日登山の予定の2名は普通ならば登山中止で大潮に対応ですが、留守番が大原さんなので、誰も心配することなく大原さん任せです。

24、25日、屋久島では珍しい雲ひとつ無い晴天に恵まれ無事下山、大原さん有難う！！

あす、26日から天候が崩れる予報、滞留です。水深が浅い上に大潮、さらに風は東からの強風注意報、最悪です。大原さん指導で2時方向へスターンからもう1本60メートルのロープ張り。岸壁への舳い2本増し、これで完璧です。最干潮は13時ごろ、この前後2時間半は岸壁から6メートルを確保しなければなりません。



26日、27日予報どおり強風に雨！！

大変です。

KANALOAから上陸するのも

KANALOAへ乗り移るのも

人力では岸壁にKANALOA

を引き寄せられません、苦肉の

策でウインチを使い何とか接岸。





28日も悪天候、ただ風が南の風へ、天気回復の兆しか！！ 予報もまずまず。

29日種子島へ向け出航を決定です。もう滞留は勘弁！

「宮之浦港」情報

係留	浮き桟橋	漁船と観光船が動かずヨットは無理みたい。
水・陸電	なし	
燃料	あり	ガソリンスタンド配達あり、免税OK
トイレ	あり	洋式はスーパー、フェリー待合所
風呂	あり	近くは田代別館500円バス代130円 距離1km
飲料水・食料品・酒	あり	スーパー
その他		スーパー敷地にコインランドリーあり
		ゴミは土産物屋(観光センター)にお願いしてみてください

田代別館
歩いても1km程度

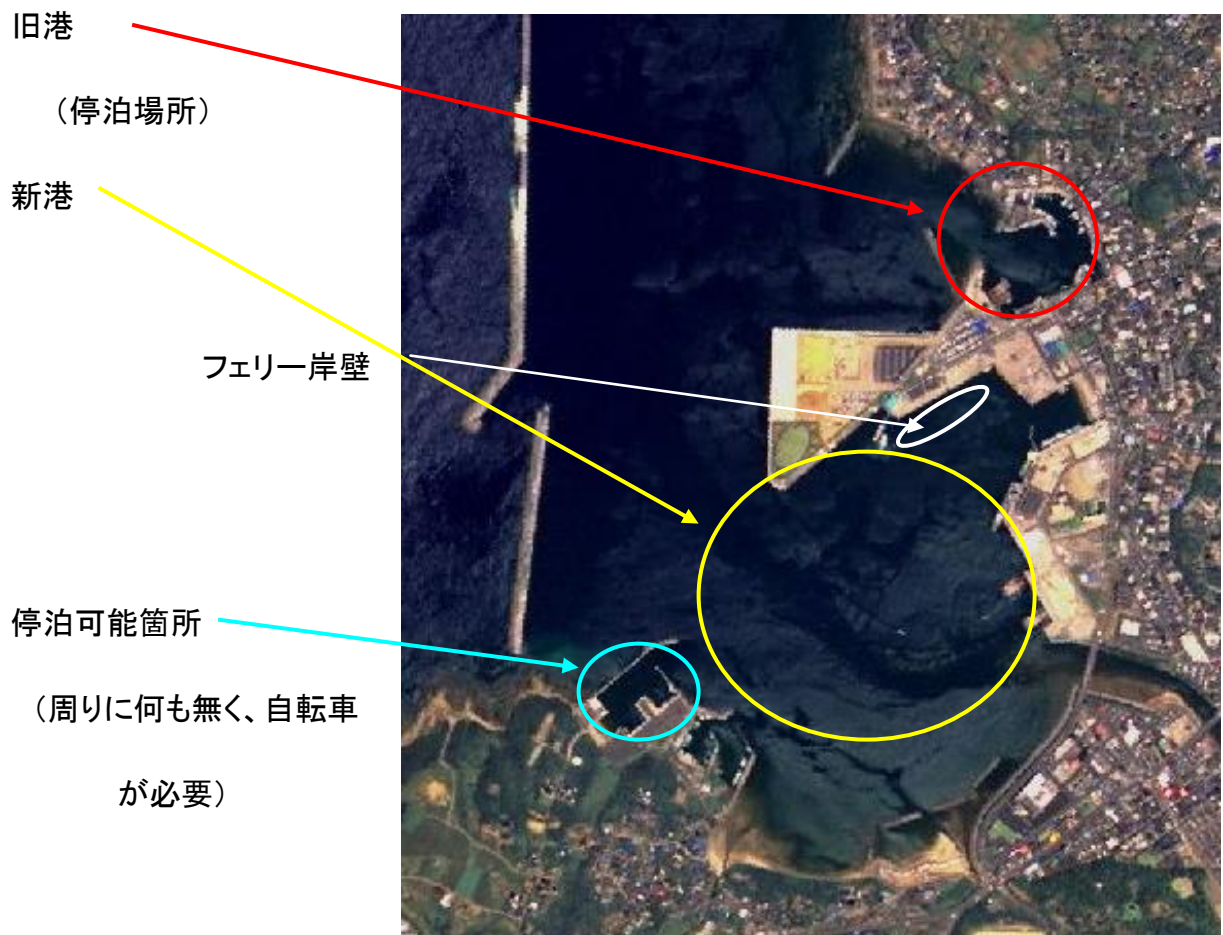


2013年5月29日(水曜日)

天候 雨のち曇り
風 南西2～5
波 1～2m
目的地 西之表
距離 29.4NM

8:30 に小雨模様の中、宮之浦港を出航、風も無く種子島西之表港を目指します。目的は種子島でしか売ってない安納芋焼酎“しま茜”！

馬毛島が見えてきました。風も南西5mになり、8ノットで快調。西之表まで10マイル、博多からこれまでずっと流してきたにもかかわらず沈黙を守り続けたトローリングのリール、“ジィ”と一瞬のうなり。しかし、また元の沈黙に。あわててラインを巻き上げると20号のラインが一発で切られていました。高鳴る胸を押さえつつルーアーを着装。もうすぐそこに西之表のところで、またリールが一瞬のうなり、合わせる間も無くライン切れ。一度ならず2度までも。どでかい獲物に思いをはせながら西之表港に14時入港。



旧港、情報では作業用台船があり横付けさせてくれるとのことですがだめ。漁船がたくさん付いていました。
 まずは製氷機の前に着岸①
 漁協に電話すると九電の給湯岸壁につけるように指示される②
 この岸壁は月に1度火力発電所燃料の給油のため使用されるそうです。

旧港の地図



泊地情報

- ・岸壁は高い
- ・トイレ 洋式
公衆トイレ 24時間 OK
- ・このエリアは漁船の船溜り接岸NO
- ・スーパー
- ・酒屋
- ・風呂 サウナがあるようです。



ここまで来てサウナ風呂では面白くないと探し回ったのですが、ネットで探しても見つかりません。温泉はすごく遠く、諦め気味。岸壁から人影が、KANALOAと岸壁の間につり餌の籠を吊るしているとか。

籠を上げるためお手伝い、中身はガンガセとカニ、ムムム…。石鯛師か羨ましい。聞けば石鯛釣りの元チャンピオンとか。暫くの釣り談義の後、風呂の話をする。「ここは銭湯無いからネー」ということでした。

風呂を諦め夕食の準備、すると頭上から、先ほどの石鯛師の声が「女房がよかて言うけん風呂、入りにおいで」とのことでした。

三人とも感謝、感謝です。車で送り迎えまでして戴き、さらに、新しくできた新港南西側のヨット停泊可能箇所まで見学に連れて行ってくれました。

ここは岸壁横付け可能、4～5艇ほど係留あり。自作の浮き桟橋を浮かべている人も居ます。ただ商店が近くにありません。トイレは近くの公園に有ったような？長逗留にはいいかも？です。



明日は油津まで一気に上る予定、距離58マイル。4時起床。

2013年5月30日(木曜日)

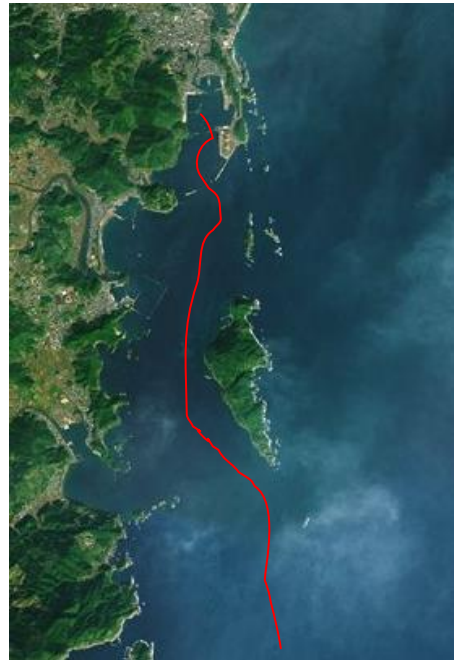
天候 晴れ
風 西南西 2m
波 1m
目的地 油津港
距離 58.5NM

4時50分西之表港出港。

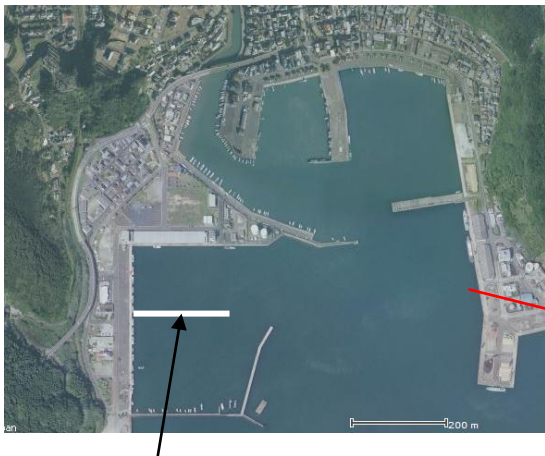
種子島の北端を交わすころ潮流が2ノットになる時間を見計らったの出港です。

順調すぎて早く油津に着くので、布志沖から時間調整のためにトローリング開始。

今航海初めての獲物ゲット！なんと、カツオです！



1 4時油津入港

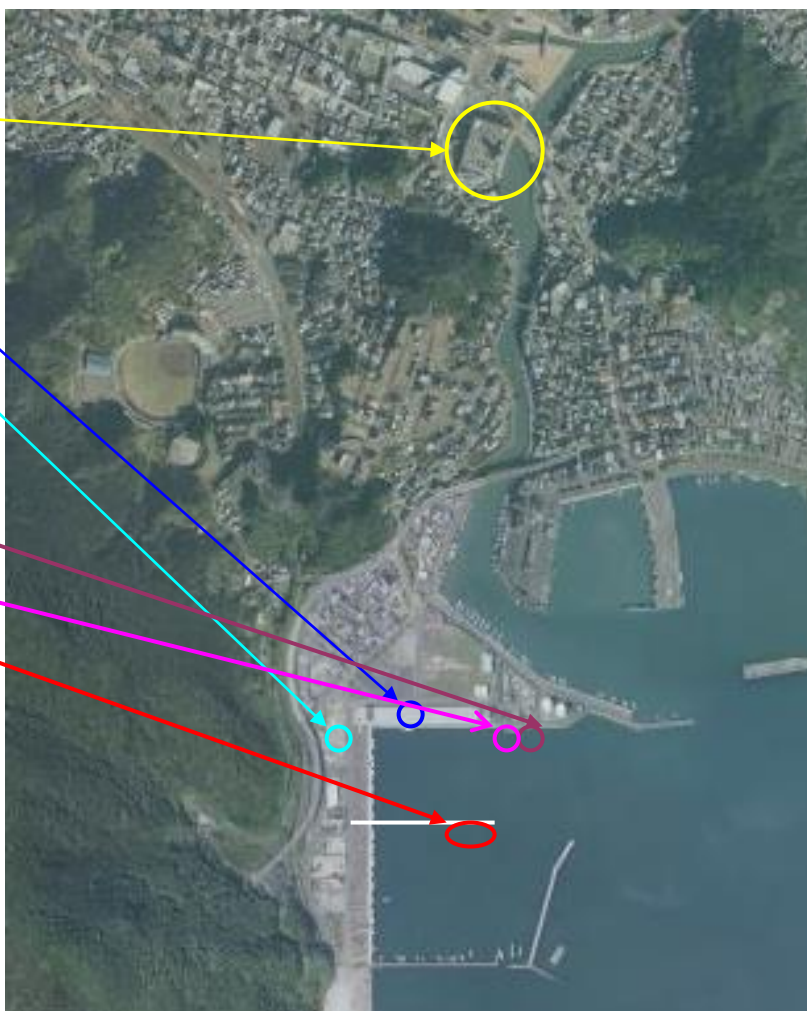


現在はここに防波堤が建造されています。水深、風除けフェンスもあり横付けOK。
快適です！



- ・ マルシヨク
- ・ 公園トイレ
- ・ 漁協事務所
 - 1階身障者トイレ洋式
 - 2階 お風呂
 - 24時間
 - 1階南側外ゴミ捨て場

- 燃料も氷もスーパーも
お風呂もトイレも水道も近くに
あり、ごみ捨てもできます。
しかし、お風呂は漁師の為の
設備、何時誰が入浴しにくる
か分かりません。
- 長逗留、男には天国でもレディ
ーには地獄、さっさと宮崎市内
へ避難されました。



6月1日、ヨットマンの車でドライブ。都城温泉と地鶏フルコースを堪能。高千穂峰近くの彼の邸宅で2次会。2日夜 KANALOA に付くころにはへろへろです。

3日、風とうねりでマグロ漁の漁船も出ていきません。舫っている、細島や深浦の漁師さんに港湾情報を聞き取り、仕掛けの伝授などを受けました。彼らはカツオ、マグロの1本釣り、ラインは200号とか。8ノットで8キロのカツオがかかると100号のラインが簡単に切れるとか。恥ずかしくて20号のライン切れの話しなぞ言うこともできません。最後には仕掛けを作ってプレゼントしていただき感謝です。

4日に漁に出るとの情報を得て、カナロアも急遽4日出航と決定。まずビール用の氷を冷蔵庫に30kぶち込みます、水も、燃料も満タンです。

18:45分出航、90 マイルの夜間航行、朝7時大分の蒲江に入港予定です。

当初は浮き桟橋のある元猿港、海のカルチャーセンターに停泊の予定でしたが電話連絡していたにもかかわらず、急に子供のカタマー訓練が入ったので係留できないと言い出す始末。相手にしても仕方ないので蒲江港に行き先を変更です。

油津に沈む夕日を背に受けながら、宮崎沖に向かい転進するころ、遠くに見えた漁船がフルスピードで接近、見れば親切にしてくれた漁師さん。お互い最後のお別れのホーン。祈、大漁！！

「油津港」情報

係留	浮き桟橋	なし
水	あり	漁協
陸電	あり	漁協
燃料	あり	漁協
トイレ	あり	漁協事務所 洋式
風呂	あり	24時間 無料
飲料水	あり	マルシヨク 1km
食料品	あり	マルシヨク 1km
酒	あり	マルシヨク 1km
その他		漁協目の前の水産加工商店でカツオ、ヨコワ販売あり

2013年5月4日(火曜日)

天候 晴れ
風 北東 2m
波 うねり 2~3m
目的地 蒲江港
距離 91.6NM

油津沖はうねりが高いので手動操舵、ハーネスも短め、用心、用心。

間もなく日も暮れてしまいました。真っ暗な太平洋を右手に、左手には宮崎の海岸線沿いの明かりを眺め、目指す方向には星々が光っています…。

細島を遠く左に見て過ぎるころから8m位の流木の真ん中に発泡スチロールをつけた、パヤオ？が、闇から突如現れます。進むにつれその数が増えていきます。この海域夜間航行要注意です。

夜が白んだ 4:30 ごろ、漁師さん伝授の仕掛けを流し始めます。シイラの入れ食いです。結局シイラしかつれずガッカリ。でも流石漁師の仕掛け、よく釣れます。

7:00に蒲江港入港

漁協の指示で○に着岸。

やはり蒲江もネットの地図

や航空写真には無い栈橋

があったり、事前情報で着

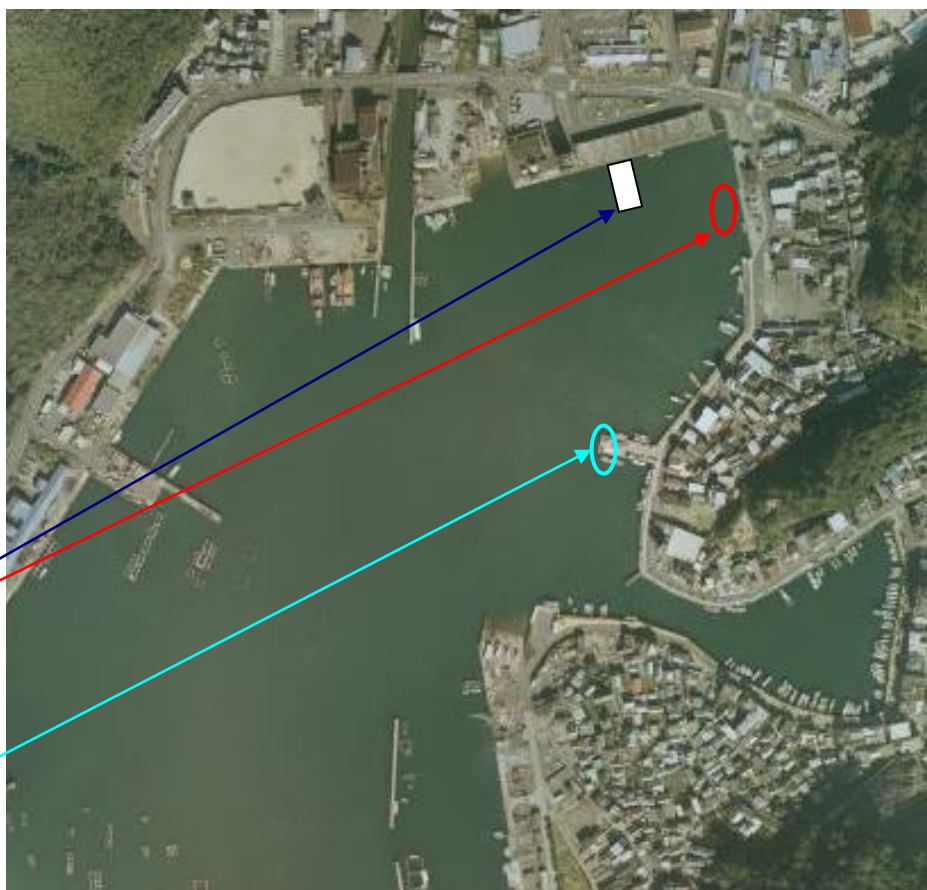
岸OKの場所がNOだった

りです。

栈橋ができています

係留場所

事前情報の着岸場所



泊地情報

・海の駅蒲江

トイレ洋式

・漁協事務所

・レストランこさか

お風呂

・スーパー

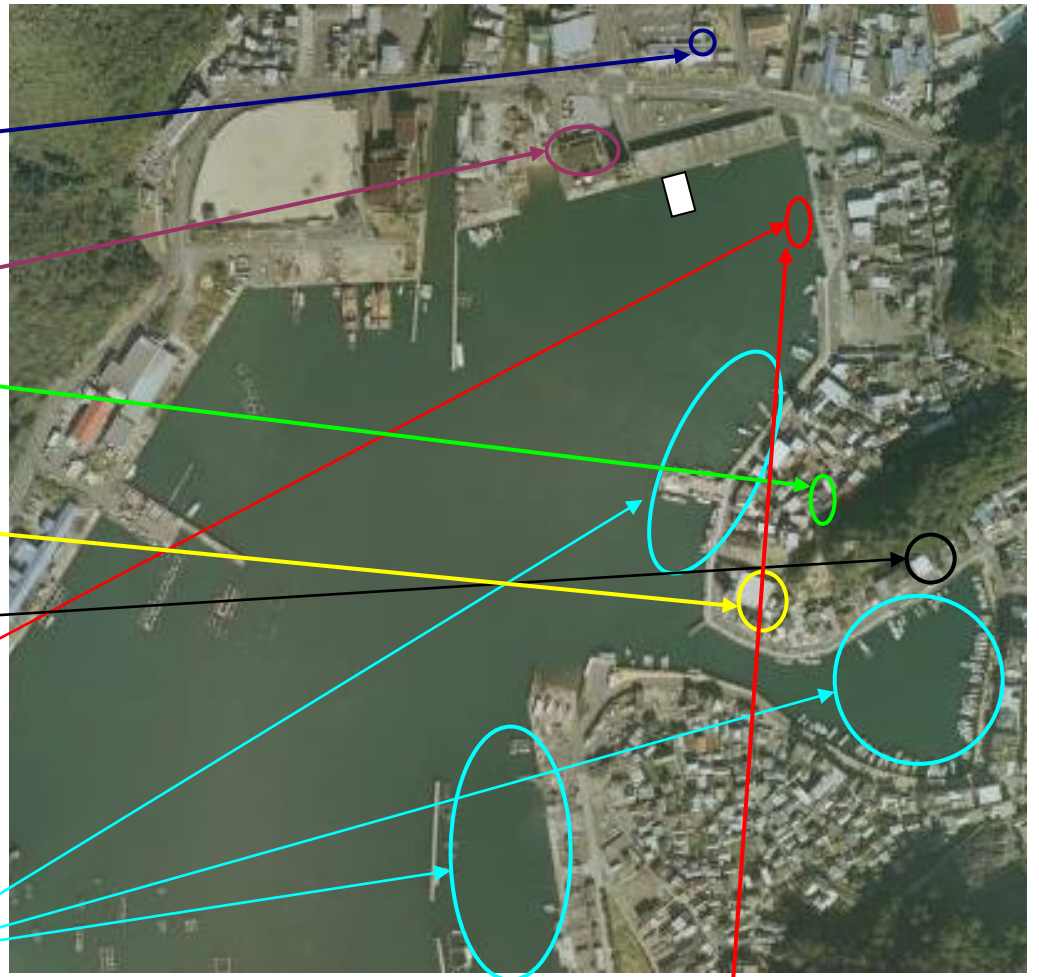
・観光案内所

・係留場所

ここ以外は

係留不可能

・ 漁船のみ



お風呂もあるし、店も、様式トイレ
も近いから便利です。しかし、漁船
の引き波は荒いし魚臭いので
長逗留はどうかなあ。

浮き栈橋です。漁船のみ

KANALOA はマストしか見えません。



荷揚げ選別場

ヨットを覗きにきた道路工事の責任者へも「旨いもん無かですかー」と聞くと、接岸場所前の水産加工の社長を紹介され事務所へ。社長さん発泡スチロールの箱をつかむと「ちょっと行くばい」と動き出す。トコトコ(歩く)、バタン(ドア)、ブーン(アクセル音)山の方へフルスロットル、どこ行くのー。

手数料も車代も何も受け取ってもらえず、かろうじて三島焼酎だけは受け取っていただきました。社長(長田商店)さん有難うございます。

A photograph of three men on the deck of a boat. The man on the left is steering the boat. The man in the center, with a white beard, is eating from a bowl. The man on the right is smiling and holding a drink. They are surrounded by food, including a large pot of food on a small stove, bowls, and cups. The background shows a harbor with other boats and buildings.



6 日の朝、6:15 に出航。
行き先は 30 マイル先の四国・宇和島です。
15 時着予定です。

「蒲江港」情報

係留	浮き桟橋	なし
水	あり	なし
陸電	あり	なし
燃料	あり	スタンド有り
トイレ	あり	海の駅 洋式
風呂	あり	レストラン こにし 500円
飲料水	あり	スーパー
食料品	あり	スーパー
酒	あり	スーパー

後で気づいたのですが、荷揚げ選別場には何十というバスタブ程の生簀が並んでおり。朝8
時ごろから定置網の漁船も荷揚げ、活魚の競りが開始されます。競りに参加しているオバチャン
に頼んで食材を仕入れるのもいいかも知れません！